

西日本インカレ（合同研究会）2015 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) カンサイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) ナカザワ
関西大学	経済学部	中澤ゼミナール

※申込書に記入したチーム名から変更する場合は、新旧両方の名称を記入してください。

※企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) チームハルカ	フリガナ) ノハラ タイシ	5人
チーム遥	延原 大志	

研究テーマ（発表タイトル）

食品ロス削減へのアプローチ

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちが今回注目したのは「食品ロス」という問題です。「食品ロス」にはコンビニ弁当の廃棄などだけではなく、香川県の讃岐うどんのような郷土料理も含まれています。私たちはこの「食品ロス」を焼却したり埋め立てたりせずに、別の使い道がないのかと考えました。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

「食品ロス」は、日本をはじめ様々な国と域で取り組まれています。たとえば日本では、「NO-FOODLOSS プロジェクト」という取り組みがされていたり、世界でも、国際連合食糧農業機関（FAO）が2011年から「SAVE FOOD」キャンペーンを実施したりしています。つまり「食品ロス」は世界でも注目されており、解決策が求められている問題です。

3. 研究テーマの課題

現在、食品廃棄物は約2801万トンあり、そのうち可食部分は約642万トンです。その可食部分を「食品ロス」といい、そのうちの約23%は肥料や飼料などに使われていますが、約77%は焼却・埋め立てに使われています。つまり、約77%が無駄になっているということです。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは、約77%の食品ロスをどうにかできないかと思い、規格外の野菜と廃棄の讃岐うどんを、真空フライ加工という技術を使ってお菓子にしようと考えました。このお菓子を作ることで、少しでも「食品ロス」を減らすためのアプローチの一つになればと思います。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

真空フライ加工が世間に知られているか、家庭用があれば購入するかなどの調査をするために、梅田や大学でアンケート調査を行いました。また、規格外の野菜のを知るために、農林水産省やJAなどに話をお伺いして、お菓子作製のためにさぬき麺業さんに廃棄のうどんを分けていただきました。そして、真空フライヤーを扱っているアトラステクノサービスさんに企業訪問し、私たちが提

案したうどんと規格外の野菜を使ったお菓子の制作にご協力いただきました。そして、おいしくなるように試行錯誤し、私たちも社長さんも納得のいくお菓子を作ることができました。

6. 結果や今後の取り組み

これによって出来た商品を「MOTTAINAI シリーズ」と名付けました。これは、地域から出た野菜や果物の規格外品と地域独自の料理とを材料とし、真空フライ加工を使い作った新たな食品です。これを様々な地域でやってもらうことで、地域から食品ロスを無くし、地域の活性化にもつながります。

7. 参考文献

後久博 (2009) 「農商工連携による「新地域おこし」のススメ」 ぎょうせい

小林富雄 (2015) 「食品ロスの経済学」 農林統計出版

関満博 (2009) 「農商工連携の地域ブランド戦略」 新評論

関満博 (2009) 「「農」と「食」の農商工連携」 新評論

【関西の議論】大阪のどケチ精神が生んだ新土産

(<http://www.sankei.com/west/news/150406/wst1504060008-n1.html>) 2015.9.12

真空フライヤー | 製品情報 | 循環濾過装置・真空フライヤーのアトラステクノサービス

(<http://www.atlasts.co.jp/product04.html>) 2015.9.12

もったいない

(<http://www.fukuiku.net/mottainai/aboutmaathai.html>) 2015.10.13

我が国の食料・農業・農村をめぐる事情

(<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/27/pdf/>) 2015.11.5

農林水産省/食品ロスの削減・食品廃棄物の発生抑制

(http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/) 2015.11.8

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「西日本インカレ事務局への連絡事項」に記入してください。なお、本企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。